

アナリストレポートの原則について

2010年10月1日

・ベル企業レポートは、IRアナリストレポートと称して、以下のように定義する。

「本レポートは、独自の視点から書いており、基本的に会社側の立場に立つものではない。本レポートは、投資家の当該企業に対する理解促進をサポートすることを目的としており、投資の推奨、勧誘、助言を与えるものではない。内容については、担当アナリストが全責任を持つが、投資家の投資判断については一切関知しない。本レポートは上記作成者の見解を述べたもので、許可無く使用してはならない。」

- ・レポートは年4回発行する。それ以外にも大きな変化があった場合は適宜出す。
- ・レポートは必ずトップインタビューを実施し、独自の分析に基づいて書く。
- ・レポートの全責任は当社及び担当アナリストが持つ。
- ・レポートの中で、アナリストの意見に関わるところについては一切の干渉を受けない。
- ・投資家が知りたいことをアナリストの立場からまとめるので、会社側の立場に立つものではない。
- ・当社のホームページに載せて、誰でも閲覧できるようにする
- ・開示に当たっては、フロントランニングの無いように管理する。
- ・内部情報に関わるような情報(法人関係情報)を入手した場合は情報管理を徹底し、レポートの発行は行わない。
- ・レポートの配信に当たっては、スポンサー料を企業から得る場合がある。また、配信料、情報提供料などを他の企業から得ることもある。
- ・特定の投資家から個別に情報料を得ることはない。
- ・当社及び担当アナリストが当該企業の株式を保有する場合は、その保有状況をレポートの中で必ず開示する。

以上